

認知症って
どんな病気？

認知症のあれこれ

認知症を知る



● 高齢者と認知症

厚生労働省の2014年の統計によると、高齢者人口（65歳以上）の認知症患者数は262万人、65歳以上の約8～10%が認知症と推定されています。4人に1人が高齢者という時代を迎えた今、家族内に認知症患者を抱えるということはごく身近なこととなっています。

● 加齢による物忘れと認知症の違い

| | |
|-----|--|
| 物忘れ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来事の一部を忘れる ・ 忘れた事を自覚している ・ ヒントを言われると気づく |
| 認知症 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来事の全てを忘れる ・ 忘れた事を自覚していない ・ ヒントを言われても気づかない |

● 認知症の原因

脳梗塞や脳出血の後遺症など原因が明らかになる認知症もありますが、**多くの認知症においてその原因は不明**です。認知症の原因は何なのか、その解明が進められています。

● 認知症の症状

認知症には**中核症状**と**周辺症状（BPSD）**があります。中核症状は脳の変化が原因となって起こります。新しい情報を記憶できない、体験したことを忘れるといった症状が上げられます。周辺症状は生活体験やそのときの心理的状況から引き起こされます。徘徊や妄想は周辺症状の一つになります。

認知症の種類と違い

～認知症の型は大別すると4つ～

● アルツハイマー型認知症

認知症の患者さんの半数以上はアルツハイマー型認知症です。時間や場所がわからなくなり、記憶障害が見られるようになります。

● 脳血管性認知症

アルツハイマー型認知症の次に多い認知症です。脳卒中などの後遺症として発症します。記憶障害の他に手足のしびれや麻痺などが症状として見られることがあります。

● レビー小体型認知症

幻視や抑うつ、パーキンソン症状を伴って、1日の中でも調子の良い時と悪い時を繰り返しながら進行します。

● 前頭・側頭型認知症

初老期に多く発症します。性格が変わる、同じ行動を繰り返すといったことが見られます。時に万引きなどの反社会的な行動をしてしまう事もあります。

